## 勤医協中央病院に通院中または通院されていた患者さん、またはご家族の方へ

2026 年 6 月 16 日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さん、またはご家族から直接同意を得ることがむずかしい場合に、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、何ら不利益を受けることはありません。

1. 課題名

乳房温存術後長期 follow up における US 追加の有用性

2. 研究の目的と意義

乳癌罹患数の増加や生存率の向上により術後長期フォローが必要な患者が増えていることから、近年は術後 10 年程度で外来での経過観察を終了し、自治体などの乳がん検診へ移行する施設も多いです。一方、温存術後の乳房検査は変形などの影響からマンモグラフィ（MG）単独での評価が困難な症例もあり、術後長期フォローアップの最適化が求められています。そこで本研究では、温存術後の同側乳房内再発診断における超音波検査（US）追加の有用性について検討し、双方の画像特性を相補的に生かした適切な併用体制のあり方を明らかにし、診療に還元することで、患者さんがより安心して検査を受けられる、質の高い検診体制の構築に繋げます。

3. 対象となる患者さんと期間

2012 年 1 月から 2025 年 12 月までに当院で乳房温存手術を施行した乳がん患者さんのうち、術後に皮膚再発を除く同側乳房内再発を来し、MG と US 両検査を施行していた患者さん。

4. 研究期間

承認日～2026 年 10 月末日

5. 利用する情報

年齢、経過期間（温存手術から乳房内再発診断まで）、発見契機（定期受診・症状自覚など）、臨床症状（自覚症状の有無・触診所見）、マンモグラフィ（MG）画像所見、超音波検査

（US）画像所見
※電子カルテおよび画像サーバーからの情報収集

6.個人情報の取り扱い
利用する情報からは、お名前・住所など、ご本人と直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会での発表を予定していますが、その際もご本人と特定できる個人情報は利用しません。
※集計にあたっては年齢を〇歳代と丸めるなど、個人識別性を完全に排除した状態で公表いたします。

7.研究責任者
公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
生理検査科主任 松下麻衣子

8.問い合わせ先
〒007-8505
札幌市東区東苗穂５条１丁目 9-1
公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
生理検査科主任 松下麻衣子
Tel: 011-782-9111（代表） Fax :011-781-0680